

こまがね

市議会だより

2022. 4. 20

3月定例会

No.93



**特集 東中学校 × 駒ヶ根市議会
こども未来会議（中学生議会）を開催！**



P7～P14
**13人が登壇！
一般質問**

こども未来会議を開催！ P2～P3
令和4年度予算案を厳しくチェック！
..... P4～P5
委員会審査報告 P6
議案等審議結果 P15
研修報告・モニター募集 P16

Komagane city council news



市議会
ホームページ



を開催！

こども未来会議で提案されたアイデア

◎：発表者

グループ	班	メンバー	提案概要
まちづくり イベント	1班	◎小栗 唯、臼井悠夏、小松愛彩美、 林 洋文	駒ヶ根市を「地元を思う愛であふれるあつあつの街」にしたい！ このふるさとの里山を観光地として位置付け、今あるありのままの景観、 自然、歴史、文化、温泉、食などが混ざって癒されるまちとして多くの 人に理解し感じていただきたい。
	2班	◎小高憲弥、片桐小春、小出来海、 斎藤瞳美、林 優乃、森田日向香	駒ヶ根市をもっと楽しく、明るくするために「かっぱ祭り」を復活させる！ （たくさんの人たちがかっぱ祭りの復活を望んでいる。）
福祉 多様性	1班	◎山田真瑞、春日麻緒、窪田茉秀、 下宮和空、丸山日彩	駒ヶ根青年海外協力隊訓練所との交流を通して、世界のさまざまな文化を 学ぶとともに駒ヶ根市の魅力を国内外に発信！世界の文化を学び駒ヶ根市 が住みよい地域となるよう考えていきたい。
	2班	◎湯澤 翠、有賀羽矢斗、大原絆士朗、 小椋なな	お金がなくて困っている人を減らしたい！全ての子どもたちが自分の希望 する進路に進めるようになってほしい！
環境	1班	◎酒井紋奈、久保田優太、小池真叶、 下平遼太郎、中城瀬那	①ごみのポイ捨てがなくなってほしい！②森を適切に管理し、地球温暖化 の抑制や土砂災害が少なく安全なまちになってほしい！
	2班	◎木下 亮、石川寧桜、春日良太、 北村芽珠、藤澤弥月	道路沿線の環境美化が保たれ、ゴミが落ちていない駒ヶ根市！
農業	1班	◎澤崎那悠、有賀万琳、北村空音、 竹村基誉成、藤井珠代	さまざまな農業体験を通じて、たくさんの人が農業に興味を持ってもらえ るように！地元農産物を使った新たな商品開発を！
	2班	◎山田珠璃、小出一步、中野ことは、 羽柴りえ、森田一士	子どもいっぱい！若者・お年寄りが元気で楽しく過ごせるために、農業か ら変えていこう！
観光	1班	◎大沼優月、原万由香、松崎 平 水村稜希、宮城歩優、山田一翔	たくさんの人に駒ヶ根市の魅力を知っていただき、リピーターやファンを 増やしたい！
	2班	◎清水葵連、安保心結、大島璃愛、 酒井優美、堀 祥太	今よりもっと住みやすく、全国から観光客が来るように！
教育	1班	◎佐藤由紀恵、飯島陽日來、斎藤柑夏、 馬場光世、福澤嵐太	東中学校のトイレを改装し洋式化を！日本トイレがきれいな駒ヶ根市に！
	2班	◎福澤琥生、赤羽小夏、澁谷晃太、 堀内太駿	東中学校制服の改善を！男子はブレザーに、女子はデザインの変更とリボ ンまたはネクタイを付けてほしい。
文化 スポーツ	1班	◎竹村嘉希、有賀 迅、下平拓実、 堀内俠真、松崎孔哉	駒ヶ根をスポーツの盛んなまちに！ ①ホッケーのまち ②eスポーツのまち
	2班	◎久保田紀嘉、赤須由菜、潮田滉知、 北原青依、中原大地	夏の風物詩であり郷土愛にもつながる「花火大会や祭りの文化」を大切 にする駒ヶ根に！かっぱ祭りのような花火大会の復活を願い、竜東・下 平地区を盛り上げ、中学生も楽しめる地域に。

「こども未来会議(中学生議会)」の様子は
駒ヶ根市議会ホームページからもご覧い
ただくことができます。

駒ヶ根市議会

検索



スマートフォンの方は
こちらから



駒ヶ根市PRキャラクター
こまがね

＝東中学校×駒ヶ根市議会＝ こども未来会議(中学生議会)

駒ヶ根市議会の新たな試みとして、駒ヶ根市立東中学校2年生を対象に、こども未来会議(中学生議会)を開催しました。

これは、次代を担う子どもたちがまちづくりや議会への理解を深め、若い世代の視点で駒ヶ根市のまちづくりについて考える機会をつくるものです。

子どもたちは、夢や希望を織り交ぜながら、「こんな駒ヶ根市にしたい！」をテーマに市政に対する要望や意見を考え、市へ提案しました。

この機会を通じて地域への愛着と誇りを高めるとともに、提案は今後の市政運営に生かされます。



事前学習【11月中旬～2月下旬】

こども未来会議の目的、議会の仕組み・役割などの学習をはじめ、7グループに分かれ、議員が講師となって、ワークショップ(グループ討議)など4回の事前学習を実施しました。市に対するまちづくりのアイデアを生徒とともに検討しました。



全体学習

ワークショップ



グループ内で発表



パソコンを使って提案作成



オンラインで打ち合わせ

本会議【令和4年3月4日】

東中学校2年生全員が議場で提案する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、議長を含む代表議員16名が東中学校からオンラインで提案することとなりました。

「こんな駒ヶ根市にしたい」をテーマに検討してきたまちづくりのアイデアを、市に対して提案しました。



議長には、藤井珠代議員と安保心結議員が選出されました。2人とも堂々とスムーズな進行をしていただきました。



東中学校と議場をオンラインで結びました



議案審査にあたり、市に対して議員が質疑した内容の一部をご紹介します。

森林環境譲与税の活用 2,060万円

森林環境譲与税を活用して森林環境整備および利活用を進める。

境界の明確化や民有林の整備は、森林環境譲与税を最大限生かして、力を入れて進めていくべきでは。



回 答

令和4年度に駒ヶ根市森林経営管理制度実施方針を定め、森林整備意向調査および森林整備を進める。



中央アルプス保全活用事業 724万円 檜尾小屋管理運営費

中央アルプスの国定公園化を契機に整備された檜尾小屋は、本年7月から指定管理により管理される。リニューアルイベントや開設のための備品購入などを行う。

管理運営費のうち指定管理料は。クラウドファンディングにて建設資金を寄付してくれた方への返礼は。



回 答

指定管理料は200万円。寄付者は300人を超え、金額に応じた返礼品（オリジナルラベルのウイスキーなど）をお返しした。



民生委員会運営事業 571万円

地域住民の福祉向上のために活動する民生児童委員活動を支援する。

一人暮らしの高齢者や認知症の方など、コロナ禍での地域住民の実情把握は。



回 答

国から訪問などの接触は極力控えるように通知があり、地域の実情は電話や置き手紙などの工夫で把握に務めた。



公園管理事業 3,300万円 公園施設長寿命化対策支援事業 (ちびっこ広場)

菅の台ちびっこ広場の遊具更新と併せて、一部の樹木伐採や剪定を行い、親子が集い、明るくにぎわいのある公園へのリニューアルを進める。

ちびっこ広場は観光地でもあるが、事業の進め方は。これまでと同様、木製遊具を設置するのか。



回 答

事業は、設計・施工を業者から提案いただくプロポーザル方式で行う予定。ちびっこ広場は、アスレチック遊具などがある公園であるとともに観光施設でもある。プロポーザル前にランドデザインや地域住民のアンケート結果などを提示し、反映させたい。遊具についても、業者からの提案により決定していく。

消費生活事務 345万円

消費者の保護と消費者生活の安定向上を図るための消費生活センターの運営、啓発事業を行う。本年4月からは広域連携により、伊南4市町村の相談業務を担う。

広域連携後の啓発策は。認知症高齢者への対応として成年後見人などとの連携は。



回 答

啓発・周知などは各市町村が担い、市の消費生活センターが一括して行うものではない。県のセンターからの情報もあるため、地域性のあるものは各市町村と連携して対応していきたい。福祉課や成年後見人などとの連携は現在もしており、今後も進めていく。

清掃総務事務 147万円 不法投棄対策、パトロール

不法投棄を減らすために、市民からの通報やパトロール員などによる監視を行う。

不法投棄パトロール員による監視とごみ収集の状況は。



回 答

平日はほぼ毎日、パトロールとごみ収集を行っている。人目のつかないところにはテレビやストーブなどの家電製品が置かれていることもある。





令和4年度予算案を厳しくチェック!

令和4年3月定例会は、2月21日～3月18日の会期で開催されました。令和4年度当初予算をはじめ、条例の一部改正、令和3年度補正予算、駒ヶ根市第5次総合計画基本構想、公の施設の指定管理者の指定などの議案を審議し、いずれも可決しました。

令和4年度当初予算は、議長を除く全議員による予算特別委員会を設置し審査を行いました。

一般会計予算 **148億5,500万円** (前年比0.8%増)

特別・企業会計予算 **109億5,625万円** (前年比2.4%増)

一般会計当初予算のポイント

- 駒ヶ根市第5次総合計画のスタート年、主要施策や重点プロジェクトへ集中配分
- 令和3年度補正予算と一体的な推進により実質的な予算規模は拡大
- 新たな時代への対応(DX推進、シン“KOMAGANE”プロジェクト)
- 新型コロナウイルス感染症への対応(ワクチン接種、感染予防、緊急経済対策他)
- 行財政改革プラン2022に基づく財政健全化の推進

令和4年度予算の詳しい内容は
「市報こまがね5月号」をご覧ください。



宮下 稔 委員長

「新年度予算に多くの質疑」

予算特別委員会は、3月11日・14日・15日の3日間、延べ17時間をかけ、令和4年度の一般会計や特別会計、企業会計など11の予算案を審議しました。

各課などから説明を受け、延べ173人の議員から315項目ほどの質疑が行われました。事業を取り巻く状況を聞き取り、取り組みの適正性や見込まれる効果など丁寧に審査しました。

歳入の動向など

令和4年度の一般会計予算は148億円ほどです。このうち市税や地方譲与税、税交付金等、地方交付税などの一般財源はおおむね100億円程度となっています。5年前の平成29年度当初予算と比べると、譲与税では新たに森林環境譲与税が、税交付金等では地方消費税交付金や新たな法人事業税交付金が増加しています。交付税は、国の地方財政計画において令和元年度以降増の傾向にあります。

ただし、交付税本体の拡大に合わせ臨時財政対策債の枠を抑制しています。当市においてもその傾向が予算に反映されています。国の方針が今後どうなるか先行きは不透明です。市は新たに定めた行財政改革プラン2022において、将来負担比率の改善などを見据えて基金残高を標準財政規模の50%程度の45億円(令和2年度末26億円)を目指すとしています。引き続き手堅い財政運営が求められます。

単位：百万円

財源	平成29年	令和4年
市税	4,590	4,569
地方譲与税	189	208
税交付金等	771	1,038
地方交付税	3,277	3,820
臨時財政対策債	610	232
その他	160	150
主要一般財源計	9,597	10,017
※交付税+臨財債	3,887	4,052

▶委員会審査の主なもの◀

総務産業委員会・教育民生建設委員会

3月9日・18日に総務産業委員会を、3月10日に教育民生建設委員会を開催しました。審査議案の主な内容と質疑をお知らせします。

提出された議案は、本会議で直ちに採決する場合がありますが、より詳しく審査するため、所管の委員会に付託し、委員会として賛成・反対を決定します。



総務産業委員会

①消防団員の報酬を改定

地域の消防防災活動を行う消防団員の報酬が改定されます。

職名	現行	改定後	職名	現行	改定後
団長	217,700	234,400	部長	43,500	60,200
副団長	141,700	158,400	班長	28,700	45,400
分団長	86,800	103,500	団員	14,800	36,500
副分団長	57,400	74,100			

単位：円

問 報酬を厚くすることにより団員確保を目指すということであると思うが、増員は期待できそうか。

答 この2年間コロナ禍により訓練などができないことや地域行事もないことから人と人との関わりが薄くなってきている。それに加えて、勧誘のために家に訪問することも難しい状況にあり、令和4年4月の新入団員は昨年と比べ少ない状況である。



<議案第10号駒ヶ根市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例>

②コロナ禍の米価下落、稲作農家を緊急支援

新型コロナウイルス感染拡大に伴う米価下落による収入減や資材高騰の影響を受ける稲作農家を支援します。

補助要件など

対象者	10a以上水稻を作付した農業者(980戸)で、売上が減少するなど要件を満たす者
対象面積	令和3年度作付面積から自家消費相当分10aを控除した面積(472ha)
支給額	10a当たり4500円
申請受付	4月上旬

問 実際のところ、この支援内容で農家の方々が救われるのか少し疑問である。営農意欲が継続できるようにとのことだが、どれほどの効果を考えているか。

答 J Aの米価が1万2500円から1万500円ということで基本下落しているが、国の収入補填対策により1万3000円程度まで補填される。それでも、2000円近く下落となっている。総合的に3割程度の支援となるが一定の効果があると考えている。



<議案第38号令和4年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第1号)予算額:2,135万円>

教育民生建設委員会

①マイナンバーカード所有者の転出手続きワンストップ化に向けたシステム改修

マイナンバーカード所有者がマイナポータル（政府が運営するオンラインサービス）にて転出手続き・転入予約を行うことで、転入先市区町村が事前準備可能となるシステムに対応するための改修を行います。現在は準備段階ですが、稼働となれば、転入手続きについては転入先市区町村のみに出向けばよく、手続きにかかる時間は短縮されます。



問 マイナンバーカードの普及状況は。

答 令和4年2月28日現在、1万3063人（人口比40.3%）が交付申請済み。そのうち交付済みは1万1377人で交付率は35.1%。

問 カードの申請から交付までの時間はどのくらいかかるか。

答 申請から交付までは1カ月程度と説明しているが、申請が増えるほどにカードを作成する地方公共団体情報システム機構の手続きが混み合うため、それ以上かかる場合も想定される。

<議案第35号令和3年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第13号)予算額:320万円>

②介護報酬の改定および要介護者の増加に伴うサービス給付費の増額

介護職員処遇改善による介護報酬の改定および要介護者の増加に伴うサービス給付費増加に対応するため、増額補正します。

問 サービス利用者が増加している原因は何か。コロナ禍の影響もあるのか。

答 新規申請は病院からの紹介によるものが増加している。末期がんによるものもあり、入院したことで使いたいとする申請が散見されるが、コロナの影響とは言い切れない。

問 フレイル（加齢により要介護状態となる危険性が高くなった状態）予防に力を入れてきたと思うが、効果はどうか。

答 介護予防事業の指標の一つは、要支援1・2の方、チェックリストの方になる。令和3年度の要支援1は87人、要支援2は114人。令和3年は11月現在で要支援1が82人、要支援2が125人となっており、大きく変わっていない。



<議案第36号令和3年度駒ヶ根市介護保険特別会計補正予算(第3号)予算額:5,977万円>

市政を問う

一般質問

今回、13人の議員が
一般質問を行いました！



一般質問

議員が市政について自由に質問することです。質問内容は「通告書」により締切日までに提出します。



詳しくはHPへ

各議員のQRコードから
YouTubeの録画動画
をご覧くださいことが
できます。

質問時間は30分

一人当たりの質問時間は
30分。答弁時間は含みま
せん。30分を超えて質問
することはできません。

※一般質問は、エコーシティー・駒ヶ岳でも放送しています。一般質問項目の内容が、全て記事になっているとは限りません。

各議員のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、YouTubeから一般質問の様子が視聴できます。パソコンで視聴される場合は、「駒ヶ根市議会」で検索後、「一般質問録画中継」からご覧ください。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。）

①QRコードをカメラや
アプリなどで読み取り
ます。（お使いの機種に
よって操作方法が異な
りますのでご注意ください。）



問 働くお母さんが増えている中で、未満児保育の人数の推移と今後の動向は、兄弟、姉妹は同じ園に入るような体制を望むが、実態と課題、対応策は。

答 申し込みがあり、各家庭の保育士必要指数の高い方から入園決定をするので、やむなく別の園になることもある。入園調整で考慮しているが、現状の解消には、果敢と改革や定員の増やが必要

竹村 知子 議員

問 未満児保育の現状と課題への対応は

答 保育室改修や定員増の必要があり理解を

質問動画はこちらから

②画面に表示されたURLを選択すると議員の一般質問ページ(YouTubeページ)が表示され動画が始まります。



《一般質問項目》

- 中島 和彦……………
- 行政・地域DX戦略により期待できる事は
 - マイナンバーカード普及促進するためにカードの利便性の向上は
- 宮下 稔……………
- 子育ての不安解消、支援策について
 - 稼げるまちづくりの推進について
 - 家庭ごみの減量は
- 小原 晃一……………
- 文化財の指定・保存管理の現状と課題、活用は
 - ポッチャを「駒ヶ根皆スポーツ」に認定、用具給付は
 - 旧赤穂公民館跡地利用は
- 松崎 剛也……………
- 観光関連施設と各課連携の現状と課題は
 - 稲作農家支援の現状と課題は
 - 伊藤市政2年間の総括は
- 竹村 誉……………
- 財政健全化の道筋は ●行政組織の効率化、適正配置は
 - シンKOMAGANEプロジェクトの狙いと期待は
 - 旧赤穂公民館跡地の活用の考えは
- 小原 茂幸……………
- 人権を尊重し、互いに理解し合える地域づくりとは
 - カーボンニュートラルに向けた取り組みは
 - 広報活動にさらなる多様性と力を注ぐことは

- 加治木 今……………
- 子どもの権利を守る条例の制定を進めては
 - 県の防災訓練の実施内容とこれからの課題、考え方は
 - 観光の連携のために観光協会関係者と市の協議の場は
- 池上 善文……………
- 檜尾避難小屋リニューアルオープンに関連して
 - 市長任期2年を終え前半の評価は
- 池田 幸代……………
- 重層的支援体制整備事業の体制整備は
 - 子どもの相談受付と居場所づくり、子育て情報提供は
 - 逆境的小児期体験を踏まえた対人援助体制は
- 中原 茂之……………
- 交通安全のためのゾーン30プラスとは
 - 区の再編についての考えは
 - 赤穂の住所表示の見直しについて
- 氣賀澤葉子……………
- 公共施設改修計画の決定には丁寧な説明が必要では
 - 通学カバンの贈呈を決定した経緯と意図は
 - 重点プロジェクトの検証と情報公開は毎年行うのか
- 竹村 知子……………
- 女性デジタル人材育成の推進は ●駒ヶ根で考える国際協力の未来は ●カーボンニュートラルの積極的な推進は
 - 子どもの近視が増えている現状と対策は
- 塩澤 康一……………
- 中央アルプスのおいしい水売り出す考えは
 - 半導体メーカー誘致推進の考えは
 - パートナーシップ宣誓制度導入の目的は

DXの恩恵で東中学校と市役所議場をオンラインで結んだ「こども未来会議」



総務省が展開する「マイナンバーカード普及促進のポスター」市役所 市民課入口に掲示

問 行政DXにおいて、期待できる事は。具体的にどのような行政手続きをいつまでにオンライン化し、進めていくのか。

市長 庁内外のペーパーレス化、庁内横断的な情報共有を進める。国の推奨する子育てに関する15の手続き、介護に係る11の手続き、被災者支援に係る

問 1つの手続きを、令和4年度中にオンライン化。

問 国がデジタル庁を設置し、県はスマート自治体を推進する。国県との連携は、総務部長 情報収集を行い、各種補助金の活用を図り、DXの推進を進める。

問 データの漏えいやサイバーセキュリティ対応は、既存システムとの互換性や、

問 DX戦略を円滑に進めるには、マイナポータルサイト利用が前提。現在のマイナンバーカードの普及率と促進戦略は。

民生部長 申請率は40・3%。うち交付率は35・1%。カード交付申請の出張交付を、中沢、東伊那支所や赤穂公民館で行うことを検討。

問 マイナポイント以外の市独自のメリットを付与する考えは。

市長 自治体が独自にポイントを付与する取り組みは、システム上、現時点ではできない。



中島 和彦 議員

問 行政DXにおいて具体的な取り組みは

答 6月にDX戦略を策定し、指針を示す



質問動画はこちらから



市は「母子健康手帳」（日本語版・外国語版）や「子育てのしおり」を配布して、子育て支援事業を紹介しています。出産・子育てに悩んだとき、お気軽に子ども課へ相談ください。

問 子育ての孤独を防ぐ夜泣きシエルトの設置や母体の心身の回復と母子交流を進める講座の開設は。
教育長 産後ケア事業を実施している。個々の不安や悩みには寄り添って対応するように、なお心掛けていく。

問 市議会から昨年11月に事業評価として子育て支援センターの土日祝日開館を
市長 協議の全体会は2回。六部会を設け、部会では合わせて20回開いた。子育てサークル代表者会議にも3回参加した他、子育て団体のイベントなどにも出掛け、現場の声を聴き事業立案を進めてきた。
問 市議会から昨年11月に事業評価として子育て支援センターの土日祝日開館を
市長 （軽く、うなずく。）
問 3年度の新規事業、パママライフプラン教室の内容、実態、効果は。
教育長 子育ての経済的負担が不安だとの声があり企画した。市の子育て支援策や市内金融機関のファイナシナルプランナーから資金準備、高校卒業までの必要資金などの情報を伝えた。4組の夫婦を含む13人が受講。好評であった。



令和3年11月28日開催
「駒ヶ根ぼっちゃクラブ」大会試合風景

問 国の「登録文化財」制度に倣い、南割・小町谷家や福岡・福澤家などを登録文化財に指定し保存・学習などに活用していく施策は。
教育長 他市町村では独自の基準で指定を実施。小町谷家は、県文化財審議会の調査もあり、引き続き県指定文化財の登録を目指す。市では他の建築物について、登録制度の必要性の有無も含め審議会で検討していく。

問 市長をはじめ部課長の中でボッチャの経験者はいるか。（幹部職員1名挙手）
老若男女・障がい者・国籍を問わず交流でき、市民の相互理解や国際理解、ウィズコロナの健康対策などに貢献できるボッチャを駒ヶ根を全区に給付して普及させる考えは。
教育長 ボッチャは年長者や障がい者、全ての人が楽しめるスポーツと認識している。市では、2セット保有し貸し出している。用具の給付は、現在考えていない。需要状況をみて保有数を検討する。地域支え合いネットなどが推奨し推進している状況である。今後市民参加の創出も考えている。

問 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と時代的に関連する「大田切城の戦い」を取り上げてPRし、博物館で企画展や展示会などを開催する考えは。
教育長 大田切城跡は、東山道の固めの城として文献にある。良い機会でありさまざまな意見を聞きPRなども含め検討していきたい。



宮下 稔 議員

問 子育ての不安解消、支援策は
答 個々の悩みに寄り添って対応したい



質問動画はこちらから



小原 晃一 議員

問 ボッチャを駒ヶ根皆スポーツに認定は
答 地域支え合いネットなどが推奨推進中



質問動画はこちらから



①シルクミュージアム ②おもしろかっぱ館（天竜かっぱ広場）
③ボルダリング設備④スケートボードパーク
（森と水のアウトドア体験広場：駒ヶ根高原の宮田側）

問 アフターコロナを見据えた上で、観光関連施設を再び盛り上げる準備はできているか。

市長 ボルダリング設備やスケートボードパークなどは修繕も検討し練習合宿などに備える。天竜かっぱ広場は今後も目的達成のため維持。シルクミュージアムは、ふるさとの家と共に新

市長 部課長が調整役を担っており、必要に応じて連絡会議などを設けている。

問 5億円以上掛け新設予定の竜東新宮川岸地域の施設をどう盛り上げる考えか。

市長 完成したら公設民営



松崎 剛也 議員

問 観光関連施設を再び盛り上げる準備は、コロナ後をにらみながら検討していく



質問動画はこちらから

であるので、地元の皆さんが運営主体。地元の皆さんの創意工夫で稼げる施設に。

問 米価下落などの影響を受けた稲作農家から支援を求める声が上がっているが。

市長 収入保険料の一部補助に加え10アール当たり4500円の支援を追加する。

問 風通しの良い市政はどの程度実現したか。この2年間の進捗状況は。

市長 対話を重視し「市長と語る会」を11回開催。進捗状況は測れるものでない。

問 退職した職員の数はいくつと比べてどうか。

総務部長 平成30年度8名、令和元年度10名、令和2年度7名、令和3年度18名。

問 市長が考える市政の一丁目一番地とは何か。

市長 多様性を尊重した広場のようなまちを目指す。



市民サービスの拠点として生かされないか…！
さら地となり、売却も検討される旧赤穂公民館跡地

問 旧赤穂公民館は解体し、さら地になっているが、引き続き市の所有地として、市民が憩える緑地公園のような形で残してほしいとの声がある。跡地の考え方は。

市長 跡地の利活用の計画はない。公共施設総合管理計画では延べ床面積を削減する方針であり、財政健全化からも売却を考えている。

問 財政健全化として、普通債残高を毎年4億円以上削減し、一方で財政調整基金を毎年2億円以上増額するとしている。実現可能とする道筋・展望は。

市長 公共施設の総延床面積の縮減と適正配置、事業見直しなどコスト削減、有利な起債の活用、ふるさと寄附のさらなる拡充や、市



竹村 誉 議員

問 旧赤穂公民館跡地を活用する考えは

答 跡地の利活用でなく、売却を考えている



質問動画はこちらから

有地の売却、企業立地に伴う市税収入増などによって目標を達成する。

問 頑張ってきた市の職員が退職を選んでいく。組織に内在する課題がないか心配するが、早期退職者が頻発している現状をどのように捉えているか。

市長 前例のないワクチン接種業務が背景かもしれない。自分の夢実現に次のステップへ進む方もいる。魅力ある組織づくりに今後も取り組んでいく。

問 ウイズコロナの新たな時代に対応するための「シンKOMAGANEプロジェクト」の狙いと期待は。

市長 まちづくりに求められる課題を探りその成果を庁内で共有し施策に生かし、得た手掛かりをプロモーション戦略につなげていく。



市役所正面玄関の右脇に置かれている、平和都市宣言と人権尊重都市宣言のプレート



市役所正面玄関の右脇に置かれている、平和都市宣言と人権尊重都市宣言のプレート

問 今議会にて、ロシアによるウクライナへの侵攻に強く抗議する決議を行った。当市は、昭和59年に平和都市宣言を行っている。子や孫の世代にどのような世界を残せるかは、今を生きる大人たちの役目である。平和教育への取り組みは。

市長 平和への意識高揚のため、毎年8月に開催される広島市の平和記念式典に若者らを派遣するなどの取り組みを行っている。過日、阿智村にある満蒙開拓平和記念館を見学した。平和を学ぶ身近な施設として、自治体パートナー制度に参加し活用を図っていく。

問 カーボンニュートラルへの取り組みとして、薪ストーブはエネルギーの地産地消にもつながり、移住者にも関心が高いものである。導入促進の現状と課題は。

市長 薪ストーブ導入にはコスト面での課題がある。また、薪の品質にも課題があり、環境省ではガイドラインを示している。身近なエネルギーとして、今後も導入が進むものとみている。

問 行政DX推進の一環として、SNS活用が広がっている。スマホなどが身近になりつつあり、さまざまな場面においてYouTubeなど動画の活用を望むところだが、今後の意向は。

総務部長 市では、成人式や駒ヶ根フォーラムなどをライブ配信してきた。動画配信は有効な情報発信の手段だと認識している。今後とも積極的に活用し、今以上に発信力を強化していく。



小原 茂幸 議員

答 問

平和教育への取り組みは
平和への意識高揚と
啓発活動を推進する



質問動画はこちらから



子どもの権利条約は子どもの基本的権利を国際的に保障するための条約です。
←ネパールの親子



子どもは生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利があります。
キャンプ場にてご飯炊きに挑戦する子どもたち→

子どもは生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利があります。
キャンプ場にてご飯炊きに挑戦する子どもたち→

問 県の防災訓練が昨年11月駒ヶ根市を会場に行われた。訓練内容とこれからの課題、考え方は。日赤奉仕団が自衛隊の炊飯車と協力

市長 物資輸送拠点開設訓練を北の原多目的運動場で初めて行った。災害時ボランティアセンター訓練では、収容可能規模などの課題や、存在や役割の周知の必要性がある。トイレ、キッチン、バス(TKB)の改善を避難所で進める。ハイゼックス炊飯訓練は周知していく。



加治木 今 議員

答 問

子どもの権利を守る条例の
制定は
子育て事業進める中、
必要なら研究する



質問動画はこちらから



池上 善文 議員

問 答

檜尾小屋オープンに合わせ
新たな宣言は

宣言については、今後検討
する



質問動画はこちらから

問 「アルプス」がふたつ映えるまち」に加え、檜尾小屋リニューアルオープンに合わせ、新たなキャッチフレーズ「美しい自然を大切に安心・安全な山岳観光のまち駒ヶ根」をうたい、宣言しては。

市長 現在7月下旬のリニューアルオープンに向け準備を進めている。今後中

央アルプス国定公園の魅力や檜尾小屋の情報発信をするとともに、安心・安全な登山に向けての周知を行う。宣言の提案については検討させていただく。

問 檜尾登山口から檜尾小屋に至る未整備箇所の点検、整備は。

然公園法などに関する許認可手続きを行いながら維持管理に当たる。登山者の安全を確保できる登山道となるよう整備を行う。

問 ノーカーボン社会を他地域に先駆けて取り組む山岳観光のまちとして、EV車、HV車で来駒されるお客様への特典を考えてみては。

市長 ふたつのアルプスに抱かれた自然豊かな環境を有していることから、エコツーリズムの推進も必要と考える。

問 保育園・幼稚園の再編統合については方針が決まり次第早い時期に公表しては。

市長 手順を大事に進めていく。適切なタイミングと判断した時には、方向性など速やかに公表する。



7月下旬オープンの中央アルプス「檜尾小屋」



池田 幸代 議員

問 答

地域に向く相談窓口の
実施体制は

駒ヶ根市社協に委託し、
積極的支援を



質問動画はこちらから

問 複合的福祉課題を支援する重層的支援体制整備事業の「アウトリーチ等事業」(地域に向く相談支援活動)の実施体制は。

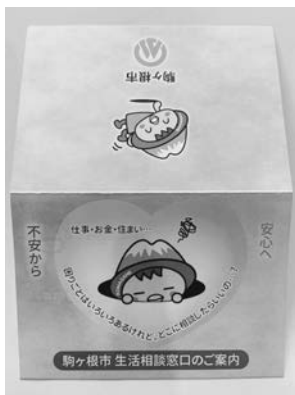
市長 課題の早期発見・早期介入ができれば事態悪化を防ぐことができた実例を踏まえ、駒ヶ根市社協に委託予定の「アウトリーチ等事業」により地域に出て積

極的に支援する。

問 重層的支援体制整備事業の効果的な広報は。

市長 第5次総合計画の地域共生社会づくりプロジェクトの柱として新年度は市報で特集を組み、地域の会合でも事業概要を広報する。

問 中高生世代の家庭・学校以外の第3の居場所づくりや子どもからの相談を受ける



福祉課(市役所南庁舎)が作成した生活相談窓口のご案内 ミニパンフレット

生活に困った時、いくつもの問題が重なった時に相談できます。また、重層的支援体制整備事業で重要な役割を果たします。

問 利用者目線に基づく熱量の高い子育て情報の提供に向けた方策は。

教育長 子育て関係団体と共に検討。情報が埋もれることなく分かりやすく伝わるよう工夫する。



安全対策が望まれる、飯坂保育園周辺道路

問 学校や保育園などがある地域から子供の安全のため、横断歩道の設置の要望があった。区から市へ要望したところ、地域住民などの合意形成を図りながら、安全・安心な通行空間を整備する生活道路の交通安全に関わる新たな「ゾーン30プラス」という施策があるとの回答があった。その施

策とは何か。
建設部長 「ゾーン30プラス」は学校周辺地域などをゾーン設定し、時速30km以下とする速度規制や視覚的な速度抑制対策によりドライバーへ注意を促すなど、生活道路における歩行者の安全対策を面的に行う施策である。地域住民、道路管理者、警察など関係者で協



中原 茂之 議員

問 ゾーン30プラスとは
答 生活道路の安全対策施策



質問動画はこちらから

議会を設置し、計画段階から連携して課題解決に取り組むこととしている。
問 現在の区割りでは、同じ区内でもその意識の違いが大きくまた生活のパターンの違いで苦情が出る場合もある。区割りの見直しを進める考えはあるか。
市長 見直しについては、自治組織内でも、歴史的な背景やさまざまな考えがあり、区割りについて行政で判断して主導的に実施することは難しいのが現状だ。
問 赤穂地区は市内至る所に混在しており住所だけでは場所の見当もつかない。分かりやすい住所表示にすることも必要では。
市長 多額の費用が必要なことや、市民にも大きな負担が掛かるため見直しは難しいと考えている。



雨漏り対策が必要とされる赤穂南小学校の体育館

問 南小の体育館は子どもたちの学ぶ場であり防災の拠点施設でもある。雨漏りの早期対策が必要。原因究明ができない場合の対応は。
教育長 応急的な対策はなく、学校と連携を取り、原因が特定され次第、予算措置を取って対策を講じる。

問 公共施設の個別施設設計画に基づく大規模改修は、
問 小学校新入児童へ通学カバンを贈呈することは、

優先順位を決定していく過程で、納得のいく丁寧な説明が必要では。
市長 補助金や起債を財源とするような大規模な改修や修繕については、個別に3カ年実施計画の中に位置づけ、予算編成を通じて事業化し公表している。
問 小学校新入児童へ通学カバンを贈呈することは、



氣賀澤 葉子 議員

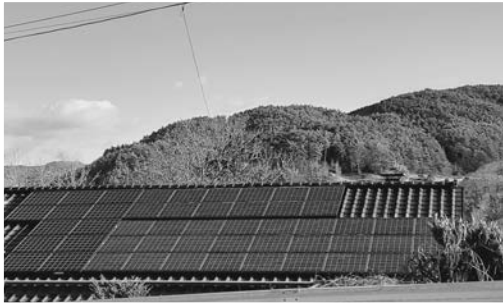
問 赤穂南小体育館の雨漏りへの早期対策は
答 優先的に調査を進め原因を特定する



質問動画はこちらから

どのような経緯で決定されたのか。また、新規事業となった意図は。
市長 アンケートや関係する皆さんとの懇談の中で、義務教育の経済的負担が多いと判断し、子どもの成長の大きな節目であり喜びでもある小学校の入学に併せて、通学カバンを贈ること、通学カバンを贈ることを決め新年度予算に提案。通学カバンを通じて、アルプスがふたつ映えるふるさとへの思いが、子どもたちの中に育まれることを期待。
問 重点プロジェクトの検証を毎年行い、情報を公開していくのか。
市長 毎年の事業を実施していく中で成果を検証し、改善すべきものは改善するそのくり返しが重要。広報を通じて報告し、総合計画の中ほどに中間報告をする。

太陽光発電・蓄電池・ペレットストーブなどの自然エネルギー設備導入などにえがおポイントを発行



問 子どもの近視が増えている現状認識と対策は。
教育長 駒ヶ根市の裸眼視力1・0未満の児童、生徒は小学校35・4%、中学校60・8%と増加傾向。来年度3歳児健診の屈折検査機器を導入し、早期治療につなげる。

問 私たち一人一人が自分ごととして考え行動するために、講演会や環境学習の取り組みを進める考えは。
市長 太陽光発電、蓄電池

問 「えがおポイント」エコ事業の取り組みは。
市長 太陽光発電、蓄電池

問 今こそ「ゼロカーボンシティ宣言」をする時では。
市長 長野県が気候非常事態宣言をし、ゼロカーボンに向けて取り組むとしているので、駒ヶ根市もこれに賛同の意志表示をし、脱炭素社会の実現を目指す。

問 私たち一人一人が自分ごととして考え行動するために、講演会や環境学習の取り組みを進める考えは。
市長 再生エネルギーの普及やメリット、課題などを学ぶ機会を増やしたい。

問 非正規雇用が多い女性の就労支援策の整備や、女性デジタル人材育成の推進に取り組むことは。
市長 デジタルスキルを持つ人材の育成は、大変重要と認識している。市内のテレワークセンターでは、安心してテレワークなどに取り組める体制を整えている。引き続き新しい働き方の就労支援を進めていく。



竹村 知子 議員

問 今こそ「ゼロカーボンシティ宣言」を
答 県の気候非常事態宣言に賛同している



質問動画はこちらから



中央アルプスが国定公園化されました。北アルプスの天然水、南アルプスの天然水があるとすれば、中央アルプスの水は

問 中央アルプスが国定公園化された。南アルプス・北アルプスの天然水がある。中央アルプスのおいしい水売り出す考えは。
市長 現段階で市が直接売り出す考えはない。すでにいくつかの企業が飲料水や原料として活用し、間接的に市のPRになっている。

問 半導体部品の供給不安
市長 半導体、ロボット関連などをはじめとし、情報通信系、食品・飲料、醸造メーカーの他、研究開発や設計などの上流工程を手掛ける研究開発型企業を中心

問 中央アルプスが国定公園化された。南アルプス・北アルプスの天然水がある。中央アルプスのおいしい水売り出す考えは。
市長 現段階で市が直接売り出す考えはない。すでにいくつかの企業が飲料水や原料として活用し、間接的に市のPRになっている。

問 半導体、ロボット関連などをはじめとし、情報通信系、食品・飲料、醸造メーカーの他、研究開発や設計などの上流工程を手掛ける研究開発型企業を中心



塩澤 康一 議員

問 中央アルプスの水売り出す考えは
答 現段階で市が直接売り出す考えはない



質問動画はこちらから

問 害獣といえ命あるもの。有害鳥獣を農福連携の観点から、地域資源として活用できないか。
産業部長 これまで市に利活用の相談はない。処理加工施設などが必要で、地元合意や採算性など課題があり取り組む予定はない。

問 害獣といえ命あるもの。有害鳥獣を農福連携の観点から、地域資源として活用できないか。
産業部長 これまで市に利活用の相談はない。処理加工施設などが必要で、地元合意や採算性など課題があり取り組む予定はない。

問 害獣といえ命あるもの。有害鳥獣を農福連携の観点から、地域資源として活用できないか。
産業部長 これまで市に利活用の相談はない。処理加工施設などが必要で、地元合意や採算性など課題があり取り組む予定はない。

問 パートナースhip宣言制度導入の目的は。「同性婚」への道を開くことになるとすると慎重になるべきで、なし崩し的に社会秩序が崩壊していく可能性があるのでは。
市長 性の多様性の理解を広め、生きづらさや偏見、差別を解消し、誰もが自分らしく生きることができるよう社会を目指す。「同性婚」は法改正が必要で国の議論が必要になる。

令和4年第1回駒ヶ根市議会定例会 議案等審議結果

●市長提出議案

※関連審査を行ったのは教育民生建設委員会

議案等番号	議 案 等 件 名	採決結果	賛否の多少	付託委員会
議案第7号	駒ヶ根市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第8号	駒ヶ根市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第9号	駒ヶ根市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第10号	駒ヶ根市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第11号	駒ヶ根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第12号	中沢財産区条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第13号	駒ヶ根市福祉センター条例を廃止する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第14号	駒ヶ根市福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第15号	令和3年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第12号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第16号	令和3年度駒ヶ根市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第17号	令和3年度駒ヶ根市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第18号	令和4年度駒ヶ根市一般会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第19号	令和4年度駒ヶ根市用地取得事業特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第20号	令和4年度駒ヶ根市中沢財産区会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第21号	令和4年度駒ヶ根市介護保険特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第22号	令和4年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第23号	令和4年度駒ヶ根市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第24号	令和4年度駒ヶ根市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第25号	令和4年度駒ヶ根市駒ヶ根高原別荘地特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第26号	令和4年度駒ヶ根市水道事業会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第27号	令和4年度駒ヶ根市公共下水道事業会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第28号	令和4年度駒ヶ根市農業集落排水事業会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第29号	市道の管理における物損事故に係る損害賠償の額を定めることについて	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第30号	駒ヶ根市第5次総合計画基本構想の策定について	原案可決	全会一致	総務産業
議案第31号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致	総務産業
議案第32号	駒ヶ根市議会議員の議員報酬等に関する条例及び駒ヶ根市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第33号	駒ヶ根市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第34号	駒ヶ根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第35号	令和3年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第13号）	原案可決	全会一致	総務産業 ※
議案第36号	令和3年度駒ヶ根市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第37号	令和3年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第38号	令和4年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致	総務産業

●議員提出議案

議案等番号	議 案 等 件 名	採決結果	賛否の多少
議 第1号	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に強く抗議する決議	原案可決	全会一致

●選任の同意

議案等番号	議 案 等 件 名	採決結果	賛否の多少
議案 第1号～第5号	中沢財産区管理会管理委員の選任について (林吉美、森保茂、林和徳、田村芳成、下平良男 以上5人全員新任)	同意	全会一致

●専決処分承認

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少
議案第6号	令和3年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第11号）の専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致

●推薦に対する意見

議案等番号	議 案 等 件 名	採決結果	賛否の多少
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(木下正彦氏、再任)	適任である旨通知	全会一致
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(伊藤みつ子氏、再任)	適任である旨通知	全会一致

●報告

議案等番号	議 案 等 件 名	議案等番号	議 案 等 件 名
報告第1号	自動車物損事故に係る損害賠償の額を定める専決処分の報告について	報告第4号	駒ヶ根高原温泉開発株式会社の経営状況を説明する書類について
報告第2号	株式会社エコーシティー・駒ヶ岳の経営状況を説明する書類について	報告第5号	一般財団法人駒ヶ根市給食財団の経営状況を説明する書類について
報告第3号	駒ヶ根市土地開発公社の経営状況を説明する書類について	報告第6号	公益財団法人駒ヶ根市文化財団の経営状況を説明する書類について

賛否が分かれた議案等に対する

会派別議員別賛否

○は原案に賛成、×は原案に反対。なお、議長は賛否同数の場合
以外は採決に加わりません。

番号	件 名	高	剛	桑	加	茂	香	茂	今	敏	原	和	誉	半	稔	光	採決結果
議 第2号	ロシアのウクライナからの即時撤収と国際法の遵守を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	採択 (賛成13 反対1)
陳情 第1号	森友改ざん問題、国会で真相究明を(陳情) 【原案：総務産業委員会での審査結果：趣旨採択】	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	×	○	○	趣旨採択 (賛成12 反対2)

研修報告

駒ヶ根市議会では、市政の発展・向上のため、また見識を広げるため、年間を通じて議員研修を実施しています。今年度実施した研修の一部をご報告いたします。

決算審査における 基本事項の確認と着眼点

令和3年8月6日(金)

講師：駒ヶ根市監査委員 下平昭治さん

決算審査の概要説明にとどまらない、駒ヶ根市の状況に絞り込んだ研修内容の希望があり、今年度は下平監査委員さんに講師を依頼しました。「議会で議決した予算が適正に執行されたか」「予算審議の質疑は事業執行の中で順守されたか」「財政運営における健全性はどうか」などの視点を改めて確認しました。

その上で、「当初見積もりの適正」「不用額の大きさ」「予算の流用」「委託料の積算根拠」「外部委託の検証」など、特に駒ヶ根市で留意すべき点について説明していただきました。



男女共同参画の観点から 女性の働き方について

令和3年10月12日(火)

講師：サン工業株式会社総務人事部部長 細田文恵さん

駒ヶ根市出身の細田文恵さんが取締役人事部長を務める伊那市のサン工業(株)は、めっき業界では全国初の「優秀企業賞」を受賞し優れた成果を上げている企業です。社長にヘッドハンティングされた細田さんは、約10年間で次々と課題を克服し、特に女性の視点からの体制づくりにより、若手・女性社員の離職率が大幅に改善されました。その改善点には「産休・育休の利用」「上司と部下間のコミュニケーション」「女性や若手社員の教育」などがあります。人材育成の方法や、徹底して社員・役員と話をする姿勢など、大変参考になることが多い研修となりました。



天竜川流域における砂防事業

令和4年2月4日(金)

講師：国土交通省天竜川上流河川事務所長 佐藤保之さん



佐藤所長は、日本の砂防技術者100人のお1人で全国各地の災害地域での貴重な勤務経験があります。伊那谷は風光明媚ではあるが、ふたつのアルプスと河川が多いことから、土砂災害が多いとのことのお話に、災害の備えの必要性を改めて痛感しました。静岡県熱海市の土砂災害の原因や、駒ヶ根市で昨年発生した太田切川の渓岸浸食対策と橋の補強など最近の災害についても詳しく解説していただきました。その際に、役所の指示を待たずに、建設系の事業者が測量や現地視察を自発的に実施することは全国でも例がない、と感心されていたのが印象に残っています。

市議会広報モニターを募集します

市議会だよりの編集や議会活動に市民の皆さまの意見を反映させることを目的として、市議会広報モニターを募集します。皆さまのご応募をお待ちしています。

主な活動内容	●年4回発行される「駒ヶ根市議会だより」のアンケート協力、意見の提言 ●モニター会議などへ出席すること	
任 期	令和4年7月上旬～令和6年3月31日	募集要件 駒ヶ根市在住者
応募方法	令和4年6月10日(金)までに、任意様式で①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤日中の連絡先を明記のうえ、郵送またはFAX・メールにてご応募ください。	
応募先	駒ヶ根市議会事務局 〒399-4192 駒ヶ根市赤須町20-1 TEL:0265-81-6191(直通) FAX:0265-83-4348 E-mail:gikai@city.komagane.nagano.jp	
そ の 他	●選考に当たっては、地区・年齢などで調整させていただく場合があります。 ●若干の謝礼があります。	

- 委員 委員 委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
- 小原 池田 塩澤 宮下 松崎 竹村 中島 氣賀澤 葉子
- 晃 幸 康 剛 知 和 彦
- 一代 一 稔 也 子

広報広聴委員会

最終的に学校と議場をつなぐオンライン開催となりましたが、中学生の取り組みとフレキシブルな提案は必ず市の未来にいきると感じています。

皆さまには、ぜひ紙面を通じて中学生議員たちの思いを感じていただければ幸いです。(松崎剛也)

この企画は広報広聴委員会を中心に15人の全議員が7グループ(14班)の担当となり、東中学校2年生の生徒の皆さんの思いを提案にまとめるお手伝いをしました。

議会ではこの1年間、新たな取り組みとして中学生が自分たちの感じている課題をグループで検討し、市への提案として議場で発表・提出する「こども未来会議(中学生議会)」という企画に取り組んでまいりました。

編集後記